プログラミング教室 第 1 回 オニごっこゲームをつくろう

この教室でやること

- 見本をマネしながら プログラミングの練習 をする。
- 自分で考えて**自分のゲーム**を作る。
- 作った作品を他の人に見せる。最終回は発表会を行います!

年間スケジュール

第1回 9/9(土) オニごっこゲーム

第2回 9/30(土) くだもの狩りゲーム

第3回 10/14(土) アクションゲーム

第4回 11/11(土) シューティングゲーム

第5回 11/25(土) 自分のゲームを作ろう

第6回 12/9(土) 発表会

教室の進め方

- 毎回プリントを配ります。
 - プログラミングをするとき、計算をしたり、順序を考えたりすることがあります。考えたことをどんどんプリントにメモしましょう。
 - o 家に持って帰って、お家の人にもどんなことをしたか話してあげてください。
 - o 前回までのプリントを持ってきて参考にしても構いません。
- 説明の間は静かに聞きましょう。
- 早く終わった人は周りの人の質問に答えてあげましょう。

心得

- 1. どうなるかわからないときは、たくさん試してみよう! たくさん失敗しよう!
- 2. マネするだけではなく、「どうして動く?」や「変えてみたらどうなる?」を考えよう!
- 3. わからないことがあるときは、周りの友達や、スタッフさんに質問しよう!

考え方のコツ

1. 小さく分けて考える

いきなりゲームの全部を考え始めると大変だ。小さく分けて考えてみたら、一つ一つは簡単かもしれない。

2. 頭の中で動かしてみる

プログラムを一度頭の中で動かしてみて、どんな風に動くのかシミュレーションしよう。

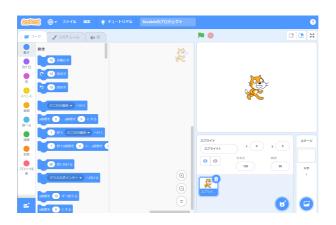
3. 大事なところを見つけ出す

プログラムを直したいとき、変えなくてはいけないところはごく一部なことが多い。直すために必要なところはどこか見つけ出そう。

プログラミングって?

コンピューターに指示をする命令を作ることをプログラミングと言います。 この教室では、Scratch (スクラッチ)というソフトを使ってプログラミングをします。





スクラッチの使い方

iPad (アイパッド) で「スクラッチ」を検索して、スクラッチのページを開きましょう。「作る」をクリックして、編集画面を開きましょう。

https://scratch.mit.edu/projects/editor/

ブロック

画面の左側に並んでいる、色のついたパーツを「ブロック」と言います。



ブロックには、画面にいるキャラクターに与える命令が書いてあります。

れんしゅう 1 命令を出そう



次の3種類のブロックを探してクリックして、ネコを動かしてみましょう。







プログラム(スクリプト/コード)

ブロックをつなげて**「プログラム」**を作ります。

スクラッチでは「スクリプト」や「コード」とも言います。

スクラッチは、ブロックに書いてあることを、書いてある順番に、続けて実行します。

れんしゅう 2 ネコを歩かせよう

このプログラムを作って、ネコを歩かせましょう。 完成したら、 💌 をクリックしてスタート!



ネコが画面からいなくなっちゃったときは、ネコをドラッグして真ん中に戻しましょう。 全く見えなくなっていたら、 とこかの場所・ へばく をクリックして、動かしましょう。

れんしゅう 3 いろいろ試してみよう

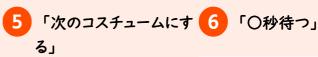
- 1 「もし端に着いたら、 跳ね返る」
- 2 「回転方法を左右のみ 🚺 「〇歩動かす」の にする」
 - 数字を変える



🎾 が押されたとき 回転方法を 左右のみ ▼ にする 10 歩動かす もし端に着いたら、跳ね返る



「〇度回す」









ファイルの保存

作ったプログラムを保存しないと、作ったデータが消えてしまいます。 1つのプログラムを、1つの「ファイル」として保存します。

れんしゅう 5 つくったプログラムを保存しよう

れんしゅう4が終わったら、プログラムを保存します。



名前を変える場合は、一度ホームに戻って、「ファイル」→「ダウンロード」→「Scratchプロジェクト」のファイルの名前を変更します。

ファイルには、どんなプログラムかわかりやすい名前(たとえば今回なら、「歩くネコ」など)をつけましょう。

れんしゅう 6 オニごっこゲームを作ろう

サメから逃げながら、星を取るゲームを作ります。



小さく分けて考える

まずは、このゲームを作るために必要なものを分解しましょう。

- タッチでネコを動かす。
- サメがネコを追いかける。
- ネコがサメに当たったらゲームオーバーにする。
- 星を取ったらクリアする。

タッチでネコを動かす

1 これまでに作ったプログラムを保存したことを確認して、「ファイル」→「新規」で新しいプログラムを作る。



2 ネコのスプライトの「大きさ」の数字を「70」にして、小さくしましょう。



3 ネコのプログラムをつくろう



4 ▶ をクリックして、ネコがタッチにくっついて動くことを確認する。

遊ぶときは だ を押して、全画面にして遊ぼう(そうしないと直接ネコを動かしてしまう)。 うまくいかないときは、プログラムを直そう。うまくできていたら次に進みます。

スプライト

画面の中で動かす絵のことを**「スプライト」**と言います。 スプライトごとに別々のプログラムを作ります。

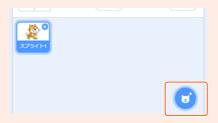




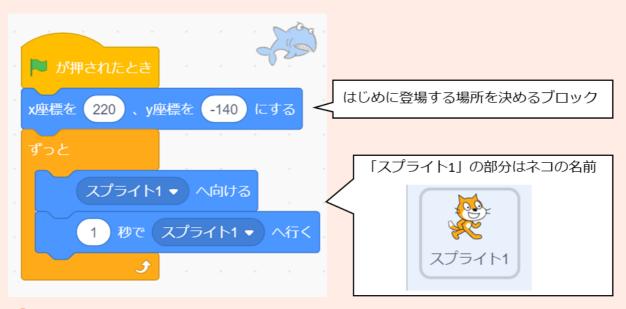


サメがネコを追いかける

1 右下のスプライト追加ボタンをクリック。



- 2 ty 🍪 E
 - を探してクリック。
- サメをクリックして、サメ(Shark2)のプログラムを作る。



4 旗をクリックしてゲームをスタートして、サメがネコに向かって動いているか確認する。

うまくいかないときは、プログラムを直そう。うまくいったら次に進もう。

ネコがサメに当たったらゲームオーバーにする

1 ネコがサメに当たったらゲームが終わるように、ネコのプログラムを追加する



灰色の部分はさっき作ったところ。変えなくてOK。 カラーの部分を追加しよう。

「もし」と「○○に触れた」を組み合わせて、 サメに当たったかどうかを調べます。

「Shark2に触れた」が見つからないときは 「○○に触れた」ブロックを探して、▼をクリック。



2 旗をクリックして、サメに当たったらゲームが終了するか確認する。

星を取ったらクリアする

- 1 サメのときと同じように、右下のスプライト追加ボタンをクリック。
- 2 星 を探してクリック。
- 3 ネコのプログラムを追加する。



4 旗をクリックして、星にあたったら「やったー!」を言ってゲームが終了するか確認する。

背景を変える

画面右下の「背景を選ぶ」をクリック



2 「Underwater2」 🗪 を探してクリック



メッセージ

「メッセージ」は、他のスプライトに命令を送るための機能です。



ゲームオーバー演出を追加しよう

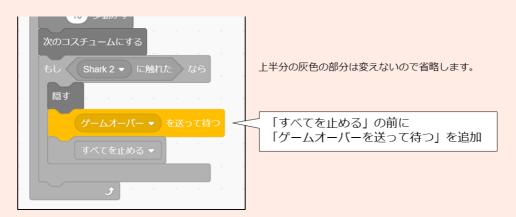
サメに食べられたとき、音を鳴らしたり、「ゲームオーバー」の文字を出したりしてみましょう。

1 メッセージ | の横の▼をクリック、「新しいメッセージ」をクリックして、「ゲームオーバー」のメッセージを作成します。





2 ネコに、ゲームオーバーのメッセージを送るプログラムを追加します。

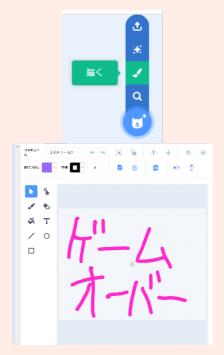


3 サメのプログラムに、ゲームオーバーのとき音を鳴らすプログラムを追加します。



- 4 旗をクリックしてゲームをスタートして、ゲームオーバーのとき音がなるか確かめる。
- ゲームオーバーの文字を描く

スプライトの「描く」をクリックして、手書きする。



6 ゲームオーバーの文字のプログラムを作る



7 旗をクリックしてゲームをスタートして、ゲームオーバーが出るか確認する。

つくったプログラムを保存しよう

終わったら、プログラムを保存します。

チャレンジ ネコの速さを変えよう

ネコが動く速さを、もっと速くしてみよう。

「大事なところを見つけ出す)



「ネコの速さを変える」には、どこを変えたらいいんだろう…?

まずは、「ネコを動かしているブロック」を見つけなきゃいけないね。





そのブロックで動かす量を多くしたり、少なくしたりすればいいんだ!

ゲームを改良してみよう

例えば・・

- ネコの速さを変える
- 敵の速さを変える
- 敵を増やす
- ゲームオーバーを参考にして、ゲームクリア画面を作る

その他にもやってみたいことがあればやってみよう。

スクラッチを使うときの参考サイト

プログラムの参考を探したいとき

「Why!?プログラミング | NHK for School」

https://www.nhk.or.jp/school/sougou/programming/

スクラッチの使い方を調べたいとき

「Japanese Scratch-Wiki」

https://ja.scratch-wiki.info/wiki/